


おぼえがき

お買い上げ日	年	月	日
販売店名			
	電話番号		

●記入しておくことで修理などの依頼のときに便利です。

愛情点検



長年ご使用のSBヒーターの点検を！

こんな症状はありませんか？

- 油漏れがある。
- 煙が出たり、強い臭いがする。
- 運転中にこげくさい臭いや、異常な音や振動がする。
- その他の異常や故障がある。

→

お願い

このような症状の場合は使用を中止し、故障や事故防止のため技術者による保守点検を受けていただくことをおすすめします。詳しくは販売店にご相談ください。

住宅設備機器総合メーカー  **CHOFU**
長府製作所

- 本社 ————— 山口県下関市長府扇町2-1
 - お問い合わせ先
- | | | | |
|-----------|-----------|-------------------|------------------------------------|
| 本社・営業部 | 〒752-8555 | 下関市長府扇町2-1 | ☎(0832)48-1111
FAX(0832)48-1906 |
| 北海道販売センター | 〒003-0809 | 札幌市白石区菊水九条2-3-1 | ☎(011)813-2210 |
| 盛岡営業所 | 〒020-0122 | 盛岡市みたけ5-15-50 | ☎(019)641-0811 |
| 仙台営業所 | 〒980-0012 | 仙台市青葉区錦町1-4-6 | ☎(022)264-0311 |
| 宇都宮工場・営業部 | 〒321-3231 | 宇都宮市清原工業団地30番 | ☎(028)667-6111 |
| 大宮営業所 | 〒331-0812 | さいたま市北区宮原町4-16-30 | ☎(048)653-8111 |
| 東京支店 | 〒160-0022 | 新宿区新宿5-14-6 | ☎(03)5369-3511 |
| 横浜営業所 | 〒224-0003 | 横浜市都筑区中川中央1-36-21 | ☎(045)912-3111 |
| 千葉営業所 | 〒261-0001 | 千葉市美浜区幸町2-24-32 | ☎(043)248-4111 |
| 名古屋営業所 | 〒465-0095 | 名古屋市名東区高社1-72-1 | ☎(052)779-2111 |
| 金沢営業所 | 〒921-8550 | 金沢市玉鉾4-17 | ☎(076)292-3111 |
| 滋賀工場・営業部 | 〒520-2394 | 野洲市野洲1473-1 | ☎(077)588-4111 |
| 大阪支店 | 〒564-0053 | 吹田市江の木町18-27 | ☎(06)6338-7111 |
| 香川営業所 | 〒764-8510 | 仲多度郡多度津町東港町7-8 | ☎(0877)33-2311 |
| 岡山営業所 | 〒700-0976 | 岡山市辰巳3-111 | ☎(086)245-1111 |
| 広島営業所 | 〒732-0811 | 広島市南区段原1-1-1 | ☎(082)261-5111 |
| 福岡営業所 | 〒812-0063 | 福岡市東区原田4-2-7 | ☎(092)629-5111 |
| 沖縄営業所 | 〒901-2101 | 浦添市西原3-18-10 | ☎(098)877-3111 |

CHOFU

SBヒーター 〔業務用油だき可搬形ヒーター〕 取扱説明書

もくじ

型名

SBH-153
SBH-353
SBH-403
SBH-803




- * 特に注意していただきたいこと……………1
- * 使用する場所……………4
- * 各部の名称……………5
- * 使用方法
 - 使用前の準備……………8
 - 使用燃料……………8
 - 給油……………9
 - 点火前の準備と確認……………9
 - 点火……………10
 - 室温調節器を取り付ける場合……………10
 - 風量調節……………11
 - 消火……………11
 - 収納……………11
- * 安全装置……………12
- * その他の装置……………12
- * 日常の点検・手入れ……………13
- * 定期点検……………15
- * 故障・異常の見分け方と処置方法……………16
- * 部品交換のしかた……………17
- * 保管……………17
- * 仕様……………18
- * アフターサービスについて……………19
- * 保証書……………巻末

このたびは長府製品をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。




- ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。なお、取扱説明書は必ず保存し、おわかりにならないことや、不具合が生じたときにお役立てください。
- 保証書は販売店からお受け取りになる際に、必要事項が記入してあるか必ず確認してください。
- 取扱説明書を紛失された場合は、お買い求めの販売店、またはお近くの工場・支店・営業所にご連絡ください。
- 製品改良により、本体・仕様等が説明書の内容と異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

*特に注意していただきたいこと①

●ここに示した事項は、危険の程度によって次のように分かれています。

 危険	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫して生じることが考えられる場合
 警告	取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が考えられる場合
 注意	取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が考えられる場合、及び物的損害のみの発生が考えられる場合

●イラストの横にあるマークは次の意味を示しています。

 絶対に行っては いけないこと	 必ず行っていた だきたいこと	 注意していただ きたいこと
--	---	--

危険

ガソリン厳禁 (火災の原因)

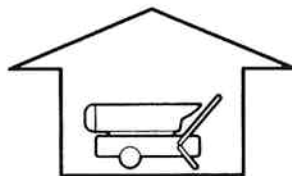
ガソリンなど揮発性の高い油は、絶対に使用しないでください。火災の原因になります。



KEROSENE ONLY

換気必要 (中毒の原因)

換気せずに使用し続けしないでください。不完全燃焼し一酸化炭素中毒を起こすおそれがあります。換気ができない場所では使用しないでください。



可燃性ガス・粉塵に注意 (爆発・火災の原因)

可燃性ガスを発生するもの(ガソリン・シンナー・LPGなど)を使用している場所や置いている場所では、使用しないでください。引火して危険です。また、可燃性粉塵が発生する場所での使用もしないでください。



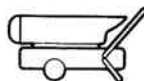
ガソリン



シンナー



禁止

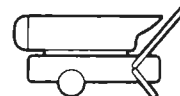


警告

スプレー缶注意 (火災の原因)



禁止

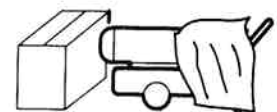


スプレー缶などの密閉容器を暖めたり、熱風に当たるところに置かないでください。熱で内部の圧力が上がり爆発し危険です。

熱風吹出口・空気取入口を ふさがない (火災の原因)



禁止



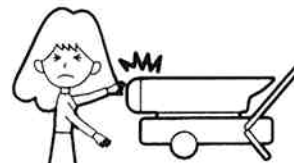
空気取入口、熱風吹出口をふさがないでください。火災や異常燃焼の原因になります。

注意

高温部に注意 (やけどの原因)



接触禁止

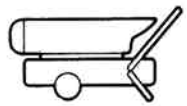


燃焼中や消火直後は高温部(吹出口周辺)に手など触れないようにしてください。やけどのおそれがあります。

可燃物に注意 (火災の原因)



注意



壁や周囲の可燃物から十分離して設置してください。機器及び吹出口の近くに燃えやすいものを置かないでください。

移動時・給油時消火 (やけど・火災の原因)

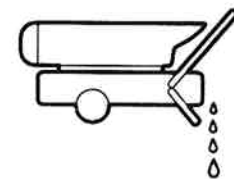


禁止



燃焼中には移動しないでください。やけどや火災のおそれがあります。また給油は必ず消火してから行ってください。

油漏れに注意 (火災の原因)



注意

機器本体に油漏れがないか確認してください。

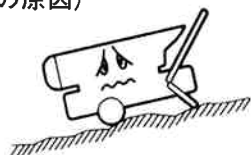
*特に注意していただきたいこと②

⚠ 注意

水平な場所で使用 (やけど・火災の原因)

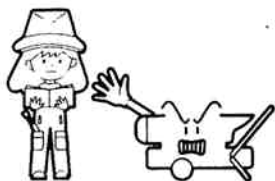


禁止



水平な場所で使用してください。傾いた場所、振動の激しい場所、不安定な場所では使用しないでください。思わぬ事故の原因になります。

分解修理の禁止 (事故の原因)



禁止

故障、破損したら使用しないでください。不完全な修理や改造は危険です。

濡れた手危険 (感電の原因)



禁止



電源プラグやコンセントを濡れた手で触らないでください。感電のおそれがあります。

用途について (事故・故障の原因)

- 特殊な用途には使用しないでください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 吹出口にダクトなど接続しないでください。火災の原因になります。
- 無人の場所では使用しないでください。

純正部品以外は使用しない (故障の原因)



励行



部品は必ず長府純正部品を使用してください。また補助具はこの機器専用のもの以外は使用しないでください。

安全装置が作動したときは (火災・故障の原因)

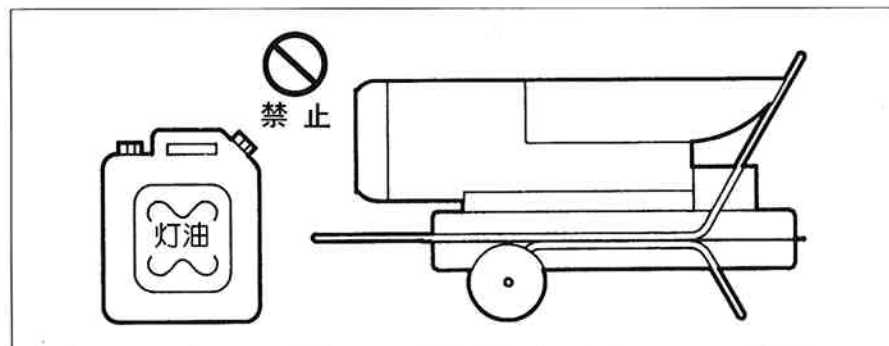
安全装置が作動したときは、取扱説明書に従って処置をしてください。処置をしないで何度もリセットを繰り返さないでください。

*使用する場所

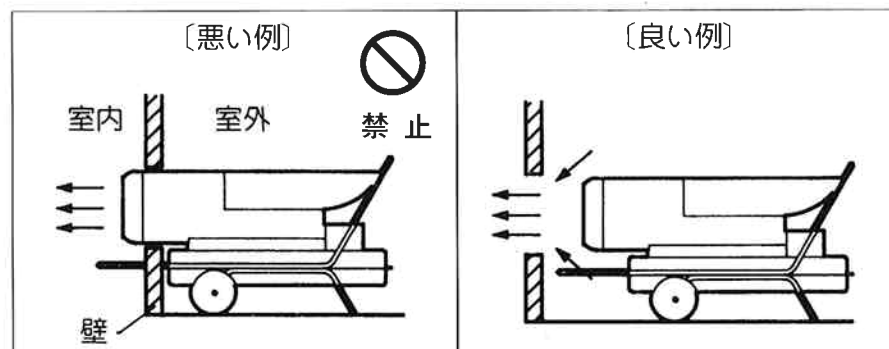
器具を安全に、より効果的に使用するためには、場所の選定が必要です。

◆安全に使用するために

1. 密閉された室内での使用は避けてください。もし使用される場合は人や動物に対する安全確保と燃焼用空気供給のため必ず適当な換気を行ってください。
2. 可燃物から十分に離してください。特にヒーター正面および周囲には油タンク等を近づけないように注意してください。



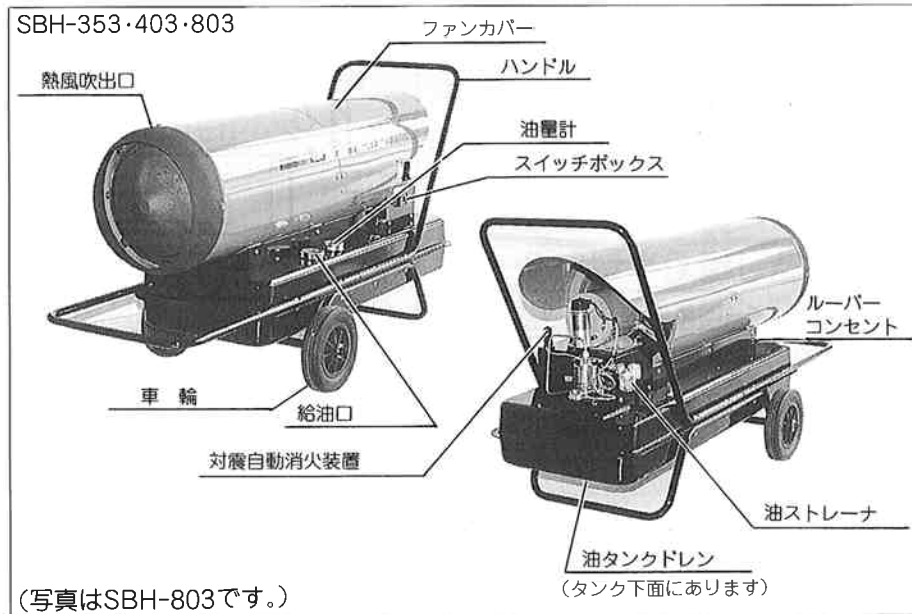
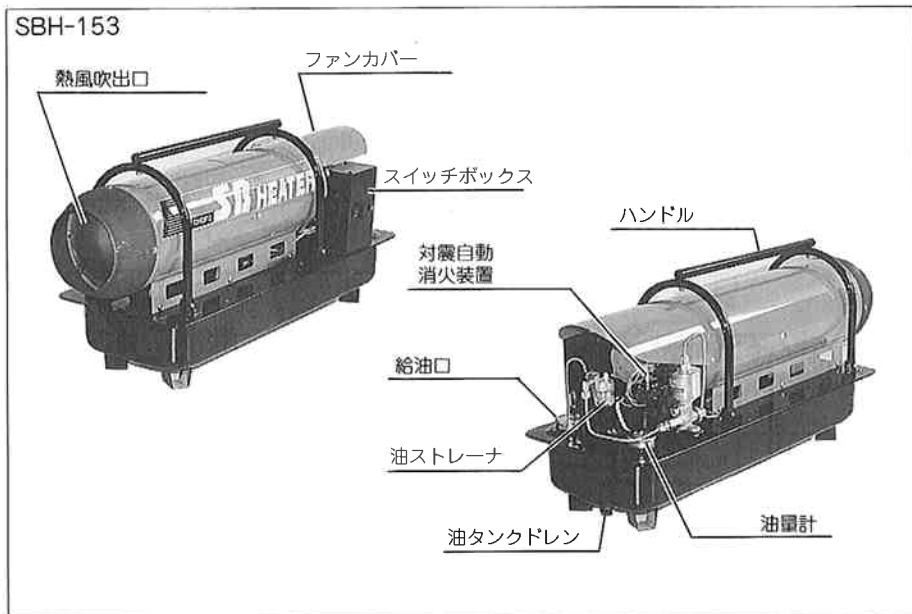
3. 可燃性ガスの発生しない場所又はたまらない場所で使用してください。
4. 熱風吹出口の周囲温度が高温にならないよう注意してください。



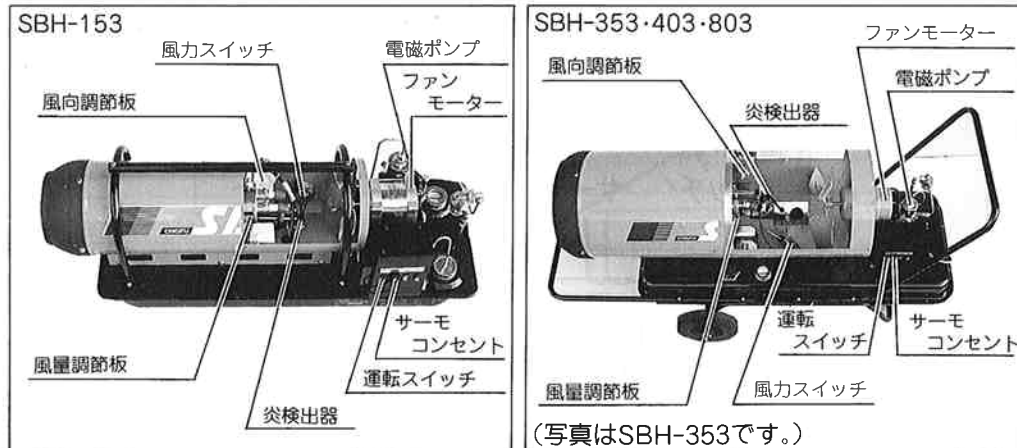
5. 水平で丈夫な床面に設置してください。

*各部の名称①

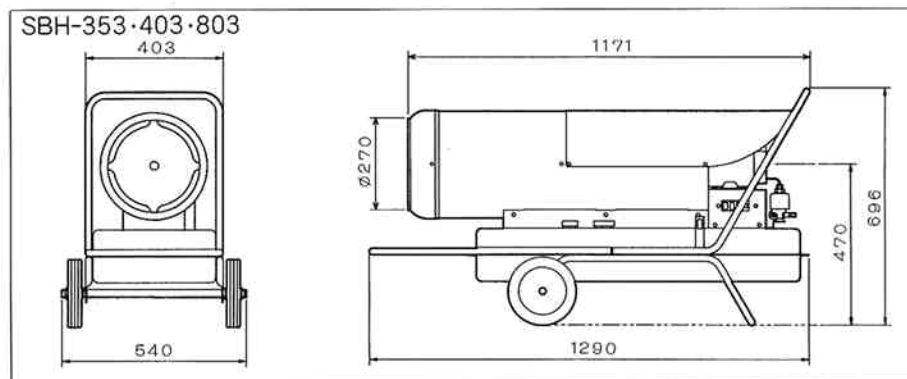
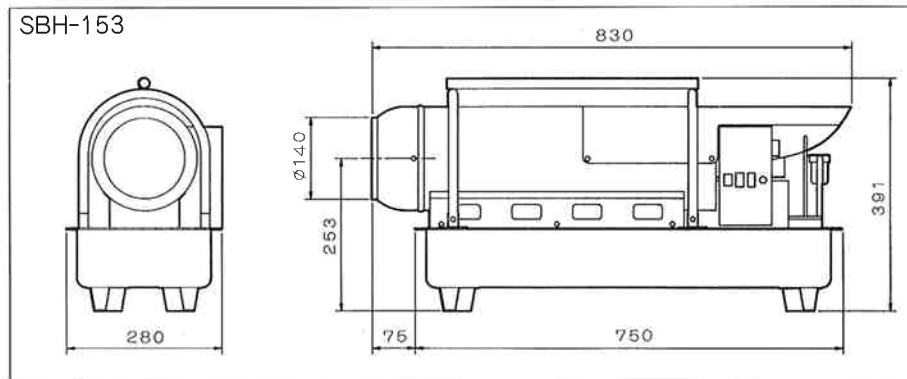
◆外観図



◆内部構造図

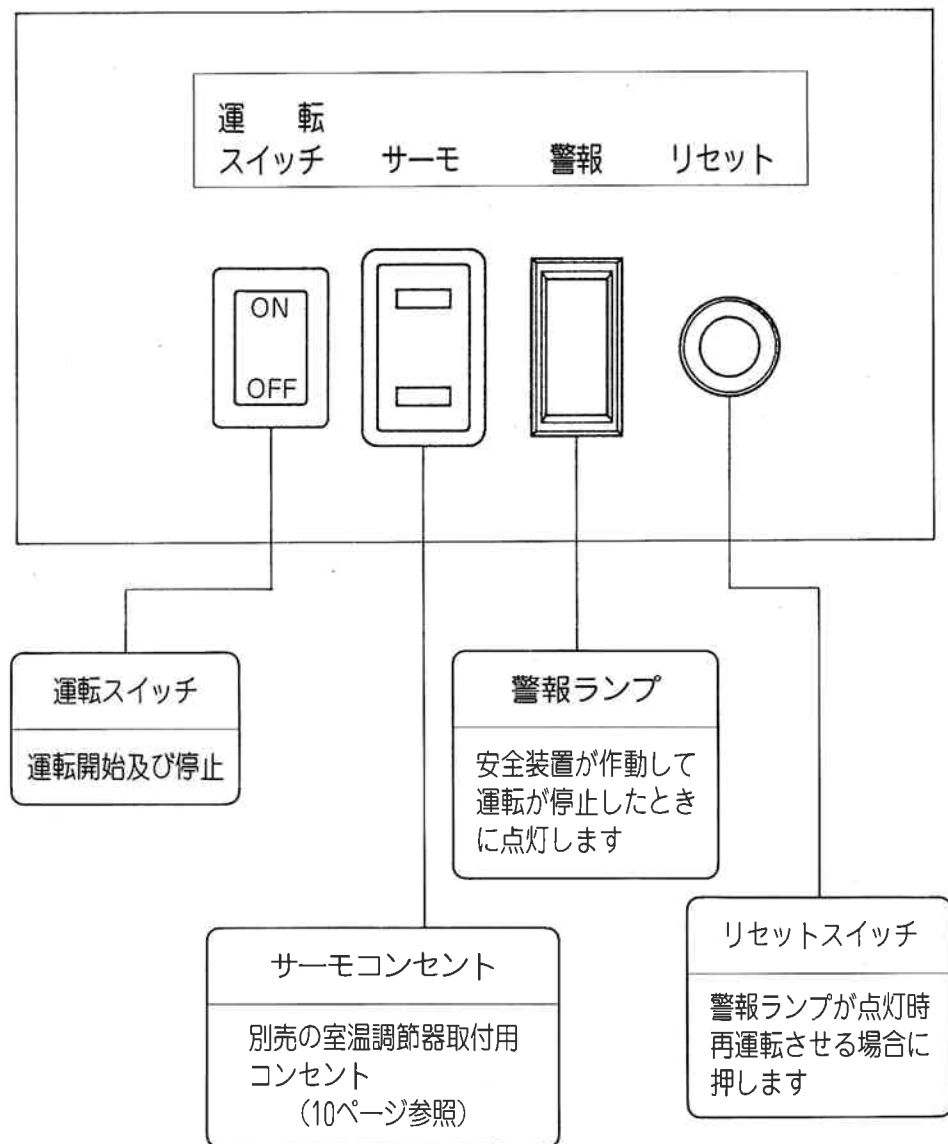


◆外形寸法図



*各部の名称②

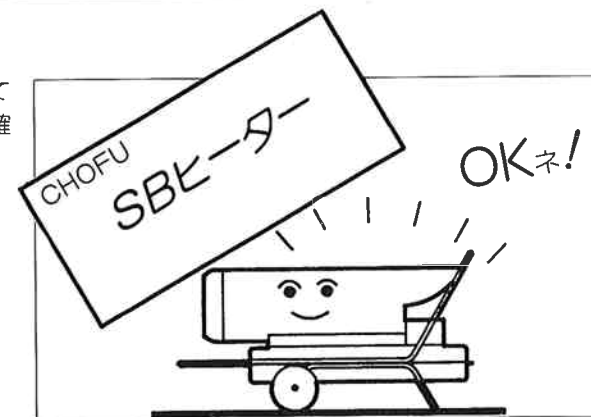
◆操作部の名称とはたらき



*使用方法①

◆使用前の準備

梱包よりヒーターを取り出して器具外観に異常がないことを確認してください。



◆使用燃料

⚠危険 ガソリンなど揮発性の高い油は絶対に使用しないでください。

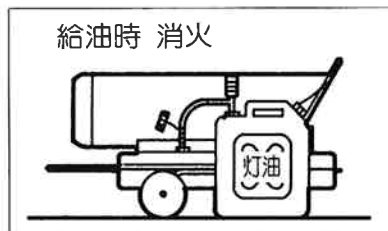
- 使用燃料
燃料は必ず灯油を使用してください。
- 変質灯油、汚れた油、水の混じっている灯油などは、絶対に使用しないでください。
灯油は必ず火気、雨水、ごみ、高温及び直射日光を避けた場所に保管してください。
- 変質灯油、不純灯油とは、
 - 変質灯油：①古い灯油(ひと夏持ち越した灯油)。
②長時間日当たりがよい場所に保管した灯油。
③長時間温度が高い場所に保管した灯油、特に容器のふたがあけてあったり、白いポリ容器で保管した灯油は変質しやすくなります。変質のひどいものは、黄色味をおびたり、すっぱいにおいがします。
 - 不純灯油：①灯油以外の油(ガソリン、シンナー、天ぷら油、機械油、重油など)がほんの少しでも混入した灯油。
②水やごみが混入した灯油。
- 変質灯油や不純灯油を使用すると
 - 不良灯油(変質灯油・不純灯油)を使用しますと故障の原因になります。
 - ガソリン、シンナーなど揮発性の高いものを使用すると、火災の原因になります。
- 万一、変質灯油や不純灯油を使ったときの処置のしかた
油タンク内の悪い油をきれいに抜き取り、良質の灯油で2~3回洗って油を入れ替えてください。
※変質灯油や不純灯油の見分け方は、たいへん難しいので昨シーズンより持ち越しの灯油、メーカーのはっきりしない灯油、極端に安価な灯油は使用しないでください。

*使用方法②

◆給油

1. 給油の際の手順と注意

給油は必ず消火を確かめてから行ってください。油タンクの給油口口金をはずし、市販の給油ポンプ等で給油し、油量計の指針が「満」を指したら給油を止めます。油をあふれさせないように注意してください。



2. 給油口口金は、確実に締めてください。

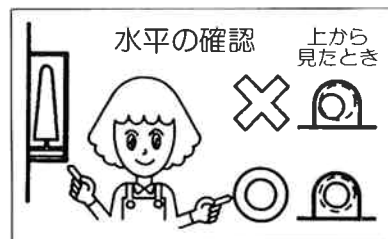
3. こぼれた灯油は、きれいにふきとってください。



◆点火前の準備と確認

1. 水平の確認

ヒーターは、必ず水平な場所で使用してください。ヒーターが水平な場所に設置されているか器具側面の水準器を確認してください。



2. 対震自動消火装置のセット

対震自動消火装置は、器具が水平に設置されていれば自動的にセットされます。

3. 電源プラグの接続

電源プラグをコンセントにしっかりと差し込んでください。

(1)電源は、一般家庭用100Vです。

(2)専用コンセントを使用してください。たこ足配線は危険ですので、絶対にしないでください。

◆点火

スイッチ箱の運転スイッチを入(ON)にしてください。ファンが回り始め、6秒後にバーナー運転を始めます。(バーナーが運転を始めると電磁ポンプからピーピーという音が出ることがありますが、これは送油管内に空気が入るためです。しばらくそのまま運転をすれば音が消えて正常に燃焼を始めます。)

お知らせ

(1)点火時、消火時には、少し白煙や臭いが出る場合があります。

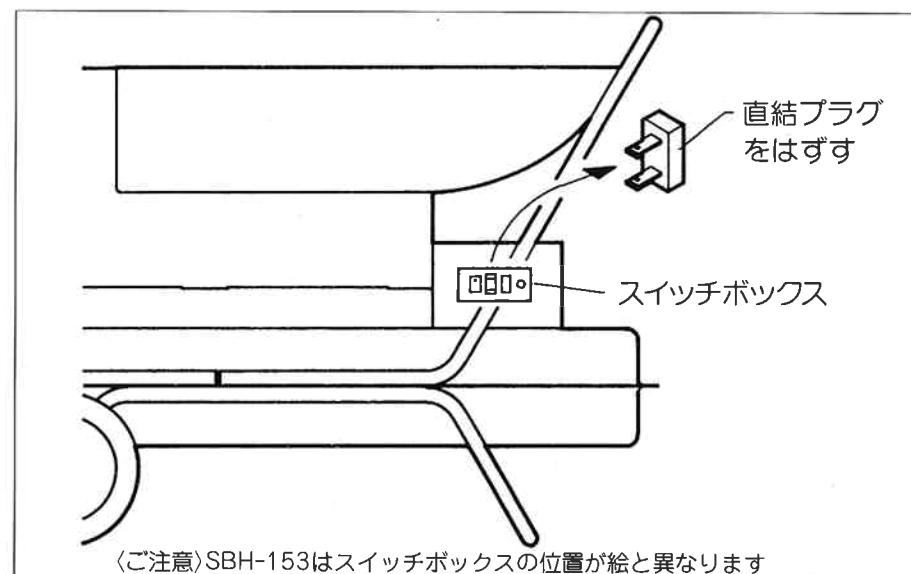
(2)予熱時や点火後、消火後ヒーターから異音が出る場合がありますが、これらは、熱膨張・熱収縮によるもので異常ではありません。

《はじめて使用するとき》

1. 使用はじめにヒーターの油経路内に空気が混入していて、点火ミスや異常燃焼する場合があります。このような場合には、1～2回点火操作を繰り返してください。
2. 使用はじめのしばらくの間、防錆油や塗料などが焼けて臭いや煙が出ることがありますので、しばらく換気をしながらご使用ください。

◆室温調節器を取り付ける場合(別売品)

サーモコンセントの直結プラグをはずし、室温調節器のコードを差込んで運転スイッチを入れてください。バーナーは室温調節器の設定温度に従って自動運転を行います。



※詳しくは、室温調節器の取扱説明書をご覧ください。

*使用方法③

◆風量調節

- ファンカバーをはずし風量調節板を動かして行います。
- 風量調節板は熱風吹出口から炎が出なくなる位置より少し開いてください。
- 風量の適・不適は必ずファンカバーを取付けてからお確かめください。

風量過剰	刺激臭があり、目が痛い。
風量適正	熱風吹出口から炎が、ほとんどでない。
風量不足	熱風吹出口から黒煙や炎が出ます。

◆消 火

- 運転スイッチを切(OFF)にしてください。
バーナーの運転停止後も炉体を冷却させるためファンは回り続け、3~4分後自動的に停止します。
- 長時間運転を停止される場合はコンセントより電源コードをはずしてください。
〈ご注意〉電源コードの抜き差しによる運転は絶対にしないでください。

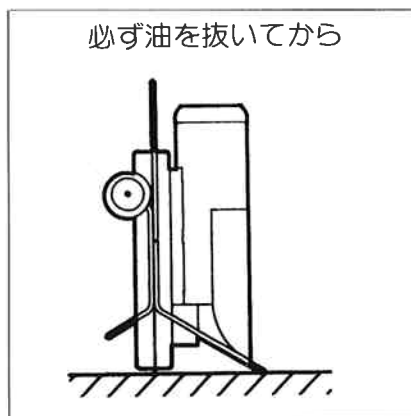
◆収 納 (153を除く全機種)

この器具は、収納時に場所をとらないように立てておけるようになっています。

(SBH-153はできません)

〈ご注意〉(1)必ず熱風吹出口が上になるように立てて下さい。

(2)収納時には、油タンク内の油を抜いて下さい。



*安全装置

◆対震自動消火装置

地震や衝撃を受けたときに作動して自動消火します。
(警報ランプ点灯)

処置方法

運転スイッチを切(OFF)にして停止させ、まわりに異常がないか確認後に運転スイッチを入(ON)にしてリセットスイッチを押してください。
(警報ランプが消灯し、運転開始します。)

◆過熱防止装置 (作動110°C)

何らかの原因でヒーター内が異常に過熱したときに作動して自動消火します。
(警報ランプ点灯)

処置方法

運転スイッチを切(OFF)にして停止させ、過熱の原因を処置してから運転スイッチを入(ON)にしてリセットスイッチを押してください。
(警報ランプが消灯し、運転開始します。)

◆炎監視装置

点火しなかったり、異常燃焼したときに作動して自動消火します。
(警報ランプが点灯)

処置方法

運転スイッチを切(OFF)にして停止させ、原因を処置してから運転スイッチを入(ON)にしてリセットスイッチを押してください。
(警報ランプが消灯し、運転開始します。)

*その他の装置

◆過電流防止装置 (電流ヒューズ)

電源回路に電流ヒューズがあり、万一過大電流が流れたときに切れて自動消火します。

処置方法

電源プラグを抜き原因を処置して電流ヒューズを交換してから再運転してください。

機 種	SBH-153	SBH-353	SBH-403	SBH-803
容 量 (A)	5	5	10	15

*日常の点検・手入れ①

◆点検・手入れのときのご注意

1. 点検・手入れは、必ず消火後ヒーターが冷えてから、電源プラグを抜いて行ってください。
2. 点検・手入れ後は、取り付けを間違えないようご注意ください。
3. 電装部品の分解・調整は、絶対にしないでください。
(どうしても必要なときは、販売店に依頼してください。)

◆点検・手入れの必要項目、時期、方法

1. 周囲の可燃物

ヒーターの周囲に燃えやすいものがないかいつも注意してください。

2. 油もれ、油のたまり、油のにじみ

ヒーターの周囲に油のにじみがないか、給油時は油タンクに油もれがないか、いつも注意してください。

3. 油ストレーナの掃除 (1年に1回以上)

必要なもの→古布・空缶(口の大きなもの)・ガソリンまたは灯油。

油ストレーナの底に水やごみがたまったらカップを反時計方向に回してはずし、中のストレーナを取出してガソリンか灯油で洗ってください。

4. 油タンクの掃除 (1年に1回以上)

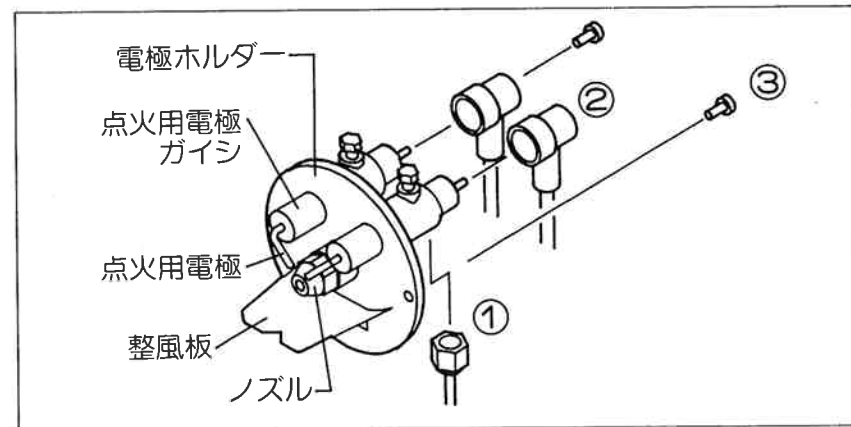
必要なもの→空缶。

タンクの下部にあるドレンの盲プラグをはずして、水・ごみ等を抜いてください。

5. バーナー部の点検

(1) 分解方法

- ① 銅パイプをはずして下さい。
- ② イグナイターの2次リード線をはずして下さい。
(先端のキャップをずらして内部の六角ナットをはずします)
- ③ 電極ホルダーの止めビスをはずして下さい。

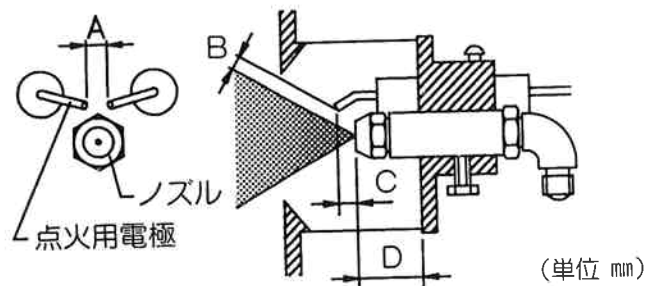


(2) 点火用電極の点検 (1年に1回以上)

点火用電極および点火用電極ガイシは、すすや多量のごみが付くと不着火の原因となりますので、点検掃除をしてください。

* 日常の点検・手入れ②

(3)パーナ一部基準寸法



型 式	A	B	C	D
SBH-153	3~3.5	2~3	8	21
SBH-353	2.5~3	3~4	6~7	21.5
SBH-403				
SBH-803				

〈ご注意〉点火遅れまたは、点火用電極に油がかかる場合は、点火用電極・ノズル位置を調整してください。

6. 対震自動消火装置の点検 (1年に1回以上)

燃焼中にヒーターをゆすってみて消火装置が作動するか確認してください。

* 定期点検

長期間ご使用になりますと、器具の点検が必要です。1シーズンに1回程度、シーズン終了後などに、お買上げ店に点検を依頼されることをおすすめします。

* 故障・異常の見分け方と処置方法①

異常の際には、次表によって原因を調べてください。それでも正常運転しない場合、※印がついている場合には、お買上げの販売店へ連絡してください。

故障の状況	原因	処置
送風機が止まらない。	コントロール基板の故障	交換してください。※
運転スイッチを切ると送風機がすぐ止まる。	コントロール基板の故障	交換してください。※
送風機の起動が悪い。	電圧が低下している。	(1)専用の回線を設けてください。 (2)配線距離が長い場合は電線の太さを大きくして電圧降下の起らないようにしてください。
送風機は動くが油が出ない。または油の出が悪い。	(1)油ストレーナにごみや水が入っている。 (2)ノズルのごみ詰り。 (3)電磁ポンプ作動不良 (4)風カスイッチの故障	(1)油タンク、油ストレーナの掃除をしてください。 (2)交換してください。※ (3)交換してください。※ (4)交換してください。※
油は出るが着火しない。	(1)火花が出ない。 (2)風量が多すぎる。 (3)油圧低下。	(1)①点火用電極にすす付着→掃除してください。 ②点火用電極ガイシにひび→交換してください。※ ③イグナイター不良→交換してください。※ ④点火用電極の位置不良→正常な位置になおしてください。 (15ページ参照) (2)風量調節を行ってください。 (11ページ参照) (3)電磁ポンプを交換してください。※